

〈1/25(土)サポーターズカンファレンス開催レポート〉



代表取締役社長 赤堀洋(以下、赤堀)

-冒頭のご挨拶

皆さんこんにちは。ザスパ群馬の赤堀と申します。本日はお忙しい中、たくさんの皆様にお越しいただきまして本当にありがとうございます。早いもので2025シーズンもいよいよ2月15日からスタートとなりました。この後の決起集会で皆様の前で新チーム・新しい選手たちをご紹介しますこととなりますが、その前にクラブとして今年どういった方針で運営していくのか、中長期にどのような戦略で進めていくのか、サポーターの皆さんとご共有合わせたいと思っております。質疑応答の時間をしっかりと取っておりますので、皆様のご質問に答えながらどういったクラブを作っていくのか、どういったところをクラブが目指していくのか、しっかりと目線合わせたいと思っておりますので、最後までよろしくお願いいたします。

今年Jリーグに加盟して20周年という記念すべき年となります。今までの20年間様々な人々が関わり、貢献していただき、今の自分たちがこうしてやっていけることをしっかりと肝に銘じて、これからの20年をどう作るのかを含め、今年からまた新たなスタートを切っていきたいと思っております。



-ザスパのミッションと新体制について

改めまして、ザスパのミッションとして、ザスパ群馬の活動を通して私たちが皆様と一緒に何のためにJリーグのクラブとして、運営していくのか再度確認をしたいと思います。

2023年1月に再度策定しなおしたミッションとなります。

サッカーを通じて地域の楽しみを創り、誇りを共有。

- ・地元群馬の皆さんから親しまれ、愛され、自慢となるチーム、存在
- ・全選手、スタッフ、社員が、子どもたちにとっての夢、あこがれ、お手本になる
- ・チームは応援してくれる皆さんのため、日々研鑽、トレーニングを重ねる
- ・ピッチでは、常に勝利を目指し全力で戦う
- ・クラブはその姿を、応援してくれる人々と共有
- ・スタジアムや練習場に地域の人が集まり、笑顔で語らい、楽しみや喜びを共有できる場を創る

2月1日付

取締役相談役 **山田 耕介**

代表取締役会長 **赤堀 洋**

社長代行兼GM **細貝 萌**

強化部長 **佐藤 正美**

このミッションを達成するために、すでに発表されている通りではありますが、2月1日付で取締役相談役山田耕介先生、代表取締役会長に私、社長代行兼GM 細貝萌が就任し、強化部長に佐藤正美の体制となります。

4月定時株主総会

代表取締役社長兼GM **細貝 萌**

取締役 **高家 正行（カインズ代表取締役社長 CEO）**

さらに4月の定時株主総会で承認される前提で、代表取締役社長兼GMに細貝萌、取締役にカインズ代表取締役社長CEOである高家さんが就任される予定です。

新設：顧客事業部

運営、グッズ、チケットの3部門をお客様（顧客体験＝CX）にフォーカスした新事業部として再編。

「顧客体験をコア」とする三位一体運営

運営 = BIGエンターテイメント演出 + 安全管理

グッズ = ファン満足度UP + コミュニティー醸成ツール

チケット = イベント参加のための「わくわく」通行証

ここで1つ紹介したいのが、新設した顧客事業部です。

運営、グッズ、チケットの3部門を統括する顧客体験にフォーカスした新事業部として再編しております。

運営は、単なる試合等場外の運営ではなく、エンターテイメント性をもっと出して、お客様に喜んでいただく、+安全 最大限守らなければいけないルールを徹底した上でBIGエンターテイメントを実現することをミッションとしています。

グッズは、単なるモノを作って売るだけでなく、お客様の満足度をグッズ通してアップしていき、それをお客様同士・ファン同士・サポーター同士がコミュニティーを醸成できるようなツールとなるように、もう一度見直します。

チケットは、どこの席が何円というだけではなく、どういったエンターテイメントのイベントに参加するためのわくわくする通行証であるという定義のもとに新たなチケットの在り方を考えていきたいということで、この新しい顧客事業部を設置します。

-新任のご挨拶



社長代行兼GM細貝萌(以下、細貝)

こんにちは。改めまして、細貝萌と申します。

2月1日から社長代行兼GMとして、チームの代表として、会社も含めて引っ張っていきたいという風に思っています。よろしくお願いいたします。

そして、引退してからここまで、社長代行兼GMの立場としての仕事をやってきました。その中で自分が感じていたこともありながら、少しでもより良いクラブと会社となっていくように努力していきたいと改めて感じる事が出来ました。

そして、GMとして現場についてもしっかりと共有しながら、どういう経緯で監督・選手の獲得をしたか、これからどういうチームを支えていくか・作っていくか、この後佐藤正美強化部長の方からお話がありますので、よろしくお願いいたします。

2025年シーズン、僕自身も頑張っていきたいと思いますので、ぜひよろしくお願いいたします。



佐藤正美強化部長(以下、佐藤)

こんにちは。今シーズン強化部長を務めさせていただきます、佐藤正美と申します。
Jリーグ加入20周年という節目の年に強化部長という立場として、新たにチャレンジできることを大変うれしく思います。よろしくお願いいたします。

顧客事業部 松本大樹(以下、松本)

皆さん、こんにちは。松本大樹です。
今シーズンは、顧客事業部部長として、地元群馬、ザスパ群馬のために精一杯頑張ります。よろしくお願いいたします。



赤堀

-中期計画について

-2022年度策定した2030年までの中期計画になります。今年が3年目で1月決算のため着地見込みで

はございますが、売上が9億を超えるというところまで来ております。また、ザスパークと練習施設をつくることまでは、計画通りに進んでいるのかなと思います。

これをベースにして来期10億、2029年度までには、入場者数1万人、2030年度には、J1昇格、その時には新スタジアムを作っていることとなります。2030年度には、J1昇格、売上高は、20億円以上、平均入場者数1万2千人を目指して、引き続きいろいろな施策を打っていきたいと考えています。

「夢」に向かって・・・

- 私たちには、「ザスパーク」がある
- 次はいよいよ、「サッカー専用スタジアム」建設へ
- J1昇格という夢 = 明確な目標に向かってリスタート
- 夢があるから、みんな頑張れる！！

17

中期計画4年目となり、ザスパ群馬の活動テーマは、この「夢」に向かって再生していくことに取り組みます。

サッカー・フットボールもちろんですが、しっかりと運営や経営部分の足元を固めていく年にしていき、昨年の悔しさを忘れずに今年新たなスタートを切っていきたいと思っておりますので、期待していただければと思います。

佐藤からもありますが、今年のキーワードに「超攻撃的」というのがあります。TOPチーム、それからアカデミーもこの新たなフィロソフィーをベースに超攻撃的なサッカーをやっていくという事はもちろんなのですが、我々社員、フロント側ももっともっとアグレッシブにいろいろなことにチャレンジしていきたいという意味も込めて「超攻撃的」という活動テーマに向かって、今年取り組んでいきます。

「夢」に向かってもう1回やっていきたいことを、皆様と共有したいと思っております。

-私たちには、「ザスパーク」がある

去年ザスパークが出来てTOPチーム／アカデミー共に練習環境がドラスティックにあがりました。

私たちの働くオフィスの環境も変わっており、皆様が常に集まれる、そういった場所がようやくできました。たくさんの皆様がトレーニングや練習試合等の時に、集まっていた姿を見ていると、こういうものがベースになって今後先ほどのミッションにあったような、皆様が集まって語り合える場所がようやくできたのだと実感しています。

-次はいよいよ、「サッカー専用スタジアム」建設へ

念願の夢だったと思っておりますが、これに向かって現実的にどのこういったスタジアムが良いのかを検討していきたいと思っております。

我々が勝手に作るものではなくて、どういう専用スタジアム・どういう場所にどのような形で作っていきたいかをぜひ皆様の意見を聞きながら計画を具体化していければと思います。

-J1昇格という夢

これは夢ではなく、やらなければいけない目標です。優勝してJ3からJ2に上がるのは、当然今年のミッションですが、ただ単に上がって落ちては、意味がないので、その先、それをベースにどのようにJ1に持っていくのかということを我々とファンサポーター、地域の皆様と意識してしっかりそこに向かってス

スタートしていきたいと思っております。

-夢があるからみんな頑張れる

しっかりと夢を共有し目標にしながら、全員で力を合わせて夢に向かって進んでいきたいと思っておりますので、皆様も応援のほどよろしくお願いいたします。

-チームスローガン



Chasing Glory-栄光に向かって疾れ！-に決定をいたしました。

ストーリーは、我々はやっぱり栄光を求めて飽くなき挑戦をする立場、勝つことに慢心をせず、その先を追い求めて挑戦を続けていくという事をこのキャッチコピーに込めております。優勝してJ2復帰は当然なのですが、その姿を皆さんに共有していきたい、皆さんと共に歓喜の瞬間を共有するためにみんなで一緒にこの栄光のストーリーを描いていきたいという思いを込めております。このスローガンと共に皆さんとチームと一緒に戦っていききたいと思っています。

佐藤より今年のチームのフィロソフィーとスローガンを共有させていただきます。

佐藤

こんにちは。このタイミングでの強化部長として、私がクラブに示させていただいた目指すチームの在り方として、選手、監督、スタッフに2025年シーズン、ザスパでプレーしてほしいというところで示させていただいた内容となります。

-目指すチームの在り方

1つ目 発掘と育成

武器や個性のある選手を見つけ出して、成長させた上でクラブも共に成長していきたいと思っております。今までザスパ群馬の選手でチャンスを掴み取った若い選手が数多くいると思いますが、その形がチームの歴史として残し、目指すべきチームの在り方としてやっていきたいと思っております。しかしながらベテランの選手をないがしろにせず、振る舞い・言葉・プライドは、絶対チームにとって必要だと考えています。

2つ目 個性と調和

前回J3に降格して以来、外国人選手の獲得にトライしていないですが、決して取らないという風に決めているわけではございません。今季、GKのジェヒが他国籍で来てくれています。これからもクラブの受け入れ体制や予算等含めて、しっかりと準備が出来ればトライしていきます。個性ある選手が年齢や国籍

関係なく、しっかりチームでプレーして調和を生み出し、各々の個性を生かしてグループを作っていきたい・チームでありたいと思っています。

3つ目 価値を高め育む

自分たちの力でクラブの価値・選手自身の価値をあげていかなければならないと思っており、みんなで協力して大きく暖かくしっかり育んでいこうという風に考えています。

-献身・団結・挑戦

献身性を持った選手や地域・仲間・サポーター・クラブのために、献身的に戦える選手達が団結し、いろいろな事に挑戦していくチームでありたいと思っております。選手には厳しい言い方をしましたが、このような部分が出来ない選手は、うちのクラブでは生き残っていくのは難しいとお話しています。

-フィロソフィー

今までのザスパは、その時々監督のサッカーで戦ってきました。

その中でどうしても相手に主導権を握られる、ボールを持たれる、どうしても守備的になる事が多かったです。決して、望み・狙ってやっていた訳ではないですが、そういった所を新しい形に変えていきたいという風に思います。

また、考え方としてクラブの歴史や背景、あるいは地域性が大事だと思っております。

今では、Jリーグを目指す、働きながらセカンドキャリアを意識しながらもプレーし、Jリーグを目指すのは当たり前で多くのチームがそういった活動をしております。草津で発進をした当時は、そのパイオニアとして立っていました。トライ・チャレンジするようなクラブでその後もなかなか練習が出来ずに何十試合・何年も皆さんと一緒にトライし、1度J3に降格した際もみんなで頑張っってJ2に復帰する等、いろいろなトライの歴史があります。これからも前向きにトライ・チャレンジを継続していきたいと思っております。

-エンブレム

群馬はとにかく夏は暑く、冬は風が強く寒い地域ですが、クイック・パワフル・アクティブ、あるいは猛攻撃するスピードで、この環境をサッカーで表現したいと選手へも伝えております。



-「超攻撃的」アタッキングコントロール

その中で新しく掲げたのが「超攻撃的」アタッキングコントロールです。こういうサッカーを目指して戦い、作る中で勝ち点を得て、昇格を目指していきます。J2・J1を意識してザスパのサッカーをつくり上げていくことをフィロソフィーにしていきます。

ここが今までとは変わった所になりますので、ぜひ共有したいと思います。

今回クラブとして超攻撃的サッカーをやるために沖田監督にオファーをさせていただきました。これから超攻撃的なサッカーを表現し、一緒につくり上げてくださると思いますし、選手に関してもしっかり話を選びました。

また、沖田監督は、操るという言葉をよく使います。

ゲーム・時間・相手・ボール・スペースを攻撃的に戦った中で操る、支配していき、ときには、サポーターの皆さんの感情・スタジアムの雰囲気等を攻撃的に戦ったうえで操って勝ち点や勝利を得ていきたいと考えています。

これを達成するためには、現代のサッカーの中で書かれているようなこと、どんな戦術でもシステムでもやっていくのは、当たり前かもしれません。ですが、沖田監督に求めたのは、監督の経験は無いかもしれませんが、J1での歴が長く、J1の基準を高く知っておられるため、J2復帰だけでなく、その先のJ1を意識してチームをつくってもらいたいと思っています。この内容は選手にも伝えていきますし、このようなチームを作っていきたいという風に思っています。



-2025目標

J3で優勝してJ2昇格・復帰、勝ち点66+α、22勝を目指していきます。もちろん、66点で昇格できるとは思っておりません。優勝して昇格するとなると、70・72以上の勝ち点が必要になっていくと考え、+αと記載しております。

監督や選手へは、求めるスタイルを確実に作りながら結果を出していくのは簡単ではないため、攻撃的なマインドを植え付けてもらいたいとリクエストをしています。

守備に関しても90分の中で守備的にブロックを引かないといけない時間もありますが、自分たちでボールを奪いに行き、カウンター1発を狙うような戦う姿勢をしっかりと植え付けてやってもらいたいと思っています。

昨シーズンは、ゴールを奪う回数や5秒以内にボールを奪うことがリーグでも一番下くらいでしたが、これまで練習試合も行った中では、そのあたりの変化は見えてきているので、開幕までのキャンプ含めて残り3週間でしっかり形を作って開幕に臨んでいきたいと思っています。

新しい体制や新しいチャレンジには、いつでもサポーターの皆さんの力があつたかと思えます。これからもそこは変わらないと思いますし、よりそのパワーも攻撃的に出していただいて、ぜひ1年シーズン戦った後に優勝してJ2に復帰できるようチャレンジできればなと思いますので、ぜひよろしくお願ひいた

します。